

北海道ASEAN事務所がシンガポールに開設

シンガポール事務所

北海道の経済交流拠点「北海道ASEAN事務所」が1月14日（木）、シンガポールに開設されました。事務所は「道産食品輸出額1千億円」「来道外国人観光客300万人」を2020年までに達成することを目標としています。

1 ASEANの成長を北海道の活力に

北海道は、日本が本格的な人口減少社会の到来を迎える中で、ASEAN市場の成長力を取り込む必要があるとの判断から、その中心地であるシンガポールに「北海道ASEAN事務所」を開設しました。事務所は「道産品の輸出拡大」「外国人観光客誘致」「北海道への投資促進」を3本柱とし、ASEAN地域における北海道ブランドの更なる発信と浸透を図ります。

高橋知事は「ASEAN経済共同体（AEC）の発足で人口6億人の巨大な経済圏が誕生した。市場を開拓するための熾烈な競争が始まる。しっかり北海道をアピールし、売り込みたい」と意気込みを語りました。



高橋知事自ら北海道をPR

2 広がる北海道のビジネスチャンス

事務所の開設に併せて、「北海道投資・企業誘致セミナー」が開催されました。プレゼンでは今年3月に開通する北海道新幹線に触れつつ、成熟する訪日旅行においてリピーターが地方に拡散するトレンドにあると北海道のビジネスチャンスや投資環境の有望さをアピールしました。

夜に行われたレセプションにはシンガポール政府関係者や駐シンガポール日本国大使、北海道の経済団体関係者などが出席し、北海道の新鮮な食材を使用した料理が振舞われました。



華やかに行われたレセプション

北海道は昨年11月、道産品の消費拡大や観光情報の発信のため、道産品アンテナショップ「北海道どさんこプラザ」の海外1号店となるシンガポール店をオープンさせています。日本とシンガポールの外交関係樹立50周年という節目の今年、事務所は北海道とシンガポール、ASEAN諸国との大きな架け橋となることが期待されています。

（佐々木所長補佐 札幌市派遣）